

事務事業名	いこいの家管理事業	事務事業No.	10601000009	所属課	高齢福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成23年度末でシルバー人材センター大和支所の事務所が撤退、平成24年度末でデマンドタクシーの事務所が撤退した。 現在は通常無人となっており、利用がある場合のみ開設して使用してもらった状況であったが、平成29年度条例を廃止し、利用を停止している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 「利用が少なくもったいない。高齢者施設としてではなく行政として他の用途で利用すべきではないか。」という声がある一方で、「利用がないのであれば施設維持経費がもったいないから取り壊すべきではないか?」といった意見も出されているが、今後の維持費を推測すると、対費用効果が得られないと判断されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 施設廃止に向けた合意形成と解体費用の予算措置、その後の跡地利用などを検討する必要がある。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の交流の場の提供を目的としているが、急傾斜と段差のある敷地条件から高齢者の利用は避けられている傾向にある。
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内に在住する高齢者の生きがいづくりや交流等を目的とした施設であるため、市が施設を設置維持管理することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 施設の老朽化に伴い、設備機器の不良が起きているため、貸出制限が必要となっている。今後、大規模修繕を行うか、施設廃止か、いつれかの選択をしていく必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の貸出希望団体は、スポーツ少年団の大会時の救護所のみであるため、廃止しても支障はない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 公民館管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 利用希望者があったとしても大和中央公民館・シトラスを代替施設として利用してもらえば、統廃合は可能である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の維持管理に伴う光熱水費・設備維持管理費などの必要最低限の経費で運用しているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 施設の設置目的である65歳以上の高齢者に対する使用料免除規定があり、それ以外の市民が利用する場合でも減免・免除規定があり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 老朽化に伴う設備機器の不良が相次いだ。そのため、利用制限を行いながらの利用許可を行った。平成29年度以降の維持管理・修繕を考えると施設の存続について見直す必要があると考え、廃止の方針を話し進め、条例廃止と残存物の処分を行った。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う)	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	